

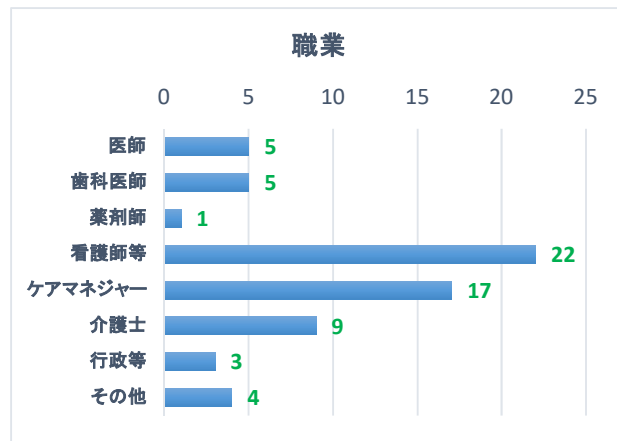
## 2019年7月12日 多職種連携研修講座アンケート結果

### 「在宅医療における救急要請について」

出席者:91名 アンケート回答者:66名 アンケート回収率:79%(関係者除く)

#### 【あなたの職業は】

医師	5
歯科医師	5
薬剤師	1
看護師等	22
ケアマネジャー	17
介護士	9
行政等	3
その他	4
計	66



#### Q1 保土ヶ谷消防署 救急担当課長 渡辺氏の講演

##### 【講演内容】

良かった	65
あまり良くなかった	0
計	65

##### 【講演時間】

長い	1
適当	57
短い	7
計	65

#### Q2 横浜市立市民病院 救命救急センター長 伊巻氏の講演

##### 【講演内容】

良かった	66
あまり良くなかった	0
計	66

##### 【講演時間】

長い	4
適当	60
短い	2
計	66

#### Q3 意見・感想

- ・わかりやすく勉強になった 今後役に立つ 事業所で伝達していきたい(22名)
- ・救急指令センター指導員の役割や立場が分かった(3名)
- ・ACPIについて必要性がわかった まだまだ課題がある(4名)
- ・連絡ノート「かかりつけ医」の連絡先欄に夜間休日などかかりつけ医と連絡が取れない時間帯の対応方法を記入する欄を設け 改定した連絡ノートが欲しい
- ・救急要請における疑問点が解決した
- ・多職種で話し合えておもしろかった 有意義だった(3名)
- ・今後システムを変えることが必要だと思った 人道的活動ができるとうい(3名)
- ・事前意思表示の大切さを知った(3名)
- ・今後救急搬送の問題は多くなると痛感した
- ・現時点では多職種連携が上手くいっていないと思う
- ・ケアマネ、看護師等の救急車同乗について「したい」思いはあっても現状は厳しい(5名)
- ・もっと多くの人に聞いて欲しい 何度もこのような研修会をやって欲しい
- ・救急時医師同士の連携が早いほど 迅速な対応ができることがわかった

#### Q5 今後の相談室企画について

- ・成年後見制度利用を通して法的側面から本人の意思決定支援できる取り組みを進めて欲しい